（別紙4（2））

事業所名：グループホームさわふじ

作成日：　平成 23 年　11月　17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	**○居心地のよい共有空間作り**	共有空間で安心して、寛げる空間作りをする。 プライバシーに配慮してた空間作りをする。 ①リビングに面しているトイレがある。入居者様が不快にならないよう工夫をする。 ②浴室脱衣所と廊下がカーテン一枚で仕切っている。プライバシー確保の為の工夫をする。	①現状の環境を見直し、必要箇所へカーテンの設置、装飾品など、目隠しになるような、工夫を検討し、実施する。 ②その他、プライバシーに配慮した空間作りの見直しを行う。	6　ヶ月
2	33	**○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。**	①重度化、終末期支援へ向け、職員の意識を高め統一し、技術を向上さる。 ②ご家族と共に、学び、方針の共用が出来ることを目指す。	①これまで同様に、職員勉強会、研修参加は継続する。 ②ご家族と共通認識を得られる様、ご家族と職員の勉強会を開催する。 ③現在、事業所が支援できる重度化支援、医療的支援について、ご家族へ説明し、理解をして頂くプロセスを踏む。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。